資料７

令和８年度 第１回 奈良県がん診療連携協議会 次第

日　時：令和８年８月３１日（月）
１７：００～
開催方法：オンライン（ZOOM）

（議　題）
開会挨拶（奈良県がん診療連携協議会・会長　吉川　公彦）

〔審議事項〕
１　2040 年を見据えたがん医療提供体制の均てん化･集約化について　（資料１）

２　奈良県がん診療連携協議会設置要綱の改正について　（資料２）

３　自施設の手術療法・薬物療法・放射線療法に関する診療実績等の
公表項目及び公表方法等について　（資料３）

〔報告事項〕
１　分科会報告　（資料４）

２　令和 8 年度 研修会等の実績・計画について　（資料５）

３　PDCA サイクル評価について　（資料６）

４　奈良県からの情報提供（奈良県福祉保険部医療政策局疾病対策課）
整備指針の改定および現況報告書の作成､今後のスケジュールについて　（資料７）
都道府県小児がん拠点病院およびがんゲノム医療拠点病院について　（資料８）
国の 2026 年度患者体験調査について　（資料９）

〔その他〕
奈良県がん診療連携協議会 議事内容の公表について　（資料なし）

次回開催予定：２～３月頃

資料 1

2040 年を見据えたがん医療提供体制の均てん化・集約化について

1　趣　旨

別紙 1「2040 年を見据えたがん医療の均てん化・集約化について」及び別紙 2「2040 年を見据えたがん医療提供体制の均てん化・集約化に関するとりまとめ」のとおり、奈良県がん診療連携協議会において、がん医療提供体制の均てん化・集約化に係る議論を進める必要がある。

2　奈良県における今後の進め方

三大療法（手術療法、放射線療法、薬物療法）について、一度に議論を進めることは困難であるため、まずは放射線療法を対象として議論を開始する。

放射線療法分科会は、放射線療法に関わる医師等で構成されているため、まずは同分科会において議論を行う。

また、放射線療法に係る均てん化・集約化については、地域におけるがん診療体制の観点も踏まえた検討が必要であることから、地域連携分科会と合同で開催し、合同分科会の検討結果を奈良県がん診療連携協議会に報告したうえで、協議会において県全体のがん医療提供体制の均てん化・集約化の方向性について議論を進めることとする。

《参考：協議会及び分科会の現行の委員（敬称略）》　　(※)…令和 6 年度時点

施設名	がん診療連携協議会	放射線療法分科会	地域連携分科会(※)
奈良県立医科大学附属病院	吉川　公彦(協議会会長) 武田　真幸	礒橋　文明(分科会会長)	武田　真幸(分科会会長)
奈良県総合医療センター	髙　済峯	石川　一樹	高　済峯
天理よろづ相談所病院	日村　好宏	高山　賢二	田口　善夫
近畿大学奈良病院	村木　正人	岡嶋　馨	木村　豊
市立奈良病院	下川　充	浅川　勇雄	小山　拡史
南奈良総合医療センター	小畠　康宣		吉村　淳
国保中央病院	佐本　憲宏		杉森　志穂
済生会中和病院	中島　祥介	堀川　典子	徳山　猛
大和高田市立病院	向川　智英	横川　正樹	中谷　敏也
奈良県西和医療センター	土肥　直文		
高井病院		井上　和也 長友 康	
奈良県疾病対策課	課長		課長補佐

３　令和８年度 スケジュール

時 期	会議名等	内 容
9 月頃	第 1 回 放射線療法分科会・ 地域連携分科会の開催日程調整	―
10 月頃	第 2 回 がん診療連携協議会の 開催日程調整	―
12～1 月	第 1 回 放射線療法分科会・ 地域連携分科会	放射線療法に関する均てん化・集約化について議論
2～3 月	第 2 回 がん診療連携協議会	放射線療法に関する均てん化・集約化について議論 （放射線療法分科会・地域連携分科会の報告含む）

資料２

奈良県がん診療連携協議会設置要綱の改正について

１　概　要

奈良県がん診療連携協議会については、現在、令和７年４月１日に最終改正された要綱に基づき運営しているところであるが、令和７年８月 29 日及び令和８年７月 30 日に改正された「がん診療連携拠点病院等の整備に関する指針」を踏まえ、患者団体等の関係団体の協議会への参画に係る規定を整備するため、要綱を改正する。

〈整備指針の改正箇所〉

Ⅰ－３－（２）※抜粋

都道府県及び都道府県拠点病院は、拠点病院等のほか、地域におけるがん医療を担う者、患者団体等の関係団体に、必ず都道府県協議会へ参画させることとし、これらの者が主体的に協議に参加できるよう運営するものとする。また、都道府県協議会の設置要綱において、前記の関係団体の参画を明記する。

２　改正案

別紙１「奈良県がん診療連携協議会設置要綱（案）」のとおり

３　主な改正内容　※詳細は別紙２『「奈良県がん診療連携協議会設置要綱」改正に関する新旧対照表』参照

項　目	内　容
（組織） 第３条第１項第八号	**「患者団体等の関係団体に属する者」を委員として追加**
（任期） 第４条	**第３条第１項第八号に掲げる委員の任期に関する規定を新設** 任期は２年とし、再任を妨げないこと等を規定する。
（会議） 第６条第５項	**分科会の設置に関する規定を新設** 協議会は、必要に応じて分科会を置くことができることを規定する。

４　施行期日

令和９年４月１日から施行する。

資料３

自施設の手術療法・薬物療法・放射線療法に関する診療実績等の公表項目及び公表方法等について

１　概　要

令和８年７月 30 日に改正された、「がん診療連携拠点病院等の整備に関する指針」において、Ⅱ－４－（３）－ ③として、次の事項が新たに規定された。

「都道府県協議会において協議・整理した公表項目に従い、自施設の手術療法・薬物療法・放射線療法に関する診療実績及び当該がん医療圏内のがん診療情報や連携医療機関等について、医療法に基づく医療広告等ガイドラインに沿って、その記載が虚偽や誇大な内容等、患者を誤認させる内容とならないよう留意し、自施設における問い合わせ先を併記した上で、ホームページ等でわかりやすく情報提供すること。」

上記を踏まえ、奈良県がん診療連携協議会において、公表項目及び公表方法等について、審議・決定する必要がある。

２　公表項目及び公表方法について

（１）自施設の手術療法・薬物療法・放射線療法に関する診療実績

現況報告において報告した項目（別紙１「手術療法・薬物療法・放射線療法に関する診療実績の公表項目」）を公表対象とする。なお、各施設から報告された情報は、奈良県疾病対策課において集約し、「がんネットなら」に掲載する。

（２）がん医療圏内のがん診療情報

現況報告において報告した項目（別紙２「がん診療情報の公表項目」）を公表対象とする。なお、各施設から報告された情報は、奈良県疾病対策課において集約し、「がんネットなら」に掲載する。

（３）連携医療機関等

各施設のホームページ等に掲載する。

《参考：「がんネットなら」の掲載場所（予定）》



３　対象施設

県民に対し、がん診療に関する情報を広く分かりやすく提供するため、地域がん診療連携拠点病院及び地域がん診療病院に加え、奈良県がん診療連携支援病院も対象とする。

資料4

分科会報告

<table>
<tr><th></th><th>相談支援分科会</th><th>緩和ケア分科会</th></tr>
<tr><td>分科会
開催日</td><td>第1回：令和8年6月30日
議題：第26回都道府県がん診療連携病院連絡協議会情報提供・相談支援部会報告
令和7年度がん相談支援センター利用状況調査の集計結果報告
令和8年度がん相談支援センター活動計画　等

第2回：令和9年3月上旬（予定）
議題：がん相談支援分科会次年度活動計画立案
令和9年度奈良県がん相談支援従事者研修会報告　　等</td><td>令和8年12月14日（予定）

議題：未定</td></tr>
<tr><td>令和8年度
計画・報告</td><td>１治療と仕事両立支援継続
①社会保険労務士の就労相談の継続実施
②ハローワーク、産業保健総合支援センターとの連携
③療養･就労両立支援指導料に関する院内への周知、指導料算定に至った相談事例の病院間での共有

２県内がん相談員のスキルアップ
①令和8年度奈良県がん相談支援従事者研修会の開催
令和9年2月6日(土)
研修テーマ：情報支援・相談支援に必要な情報支援の基本と情報を見極める力を学ぶ
研修講師：滋賀県立総合病院 岡村 理　氏
②国立がん研究センターの相談員指導者研修受講要件を満たす相談員の育成
受講要件に必要な研修の受講、県内相談員対象の研修会運営・企画への参加促進
③スキルアップに必要な研修の受講

３患者サロン運営の充実・強化
①サロン運営者会議等でピアサポーターと連携し、患者サロンの充実を図る
②働く世代等が参加可能な機会の検討及び、他団体で実施しているサロン・集いに関する情報提供

４ライフステージに応じた療養環境への支援
①小児・AYA世代へのがん相談支援センター周知への取り組み及び対象者のニーズ把握に努める
②主科とがん相談支援センターが連携し、高齢者のニーズ把握及び対応に努めるとともに、
主治医等との対話促進を軸にした意思決定支援を行う

５　がん相談支援センターの周知と相談機能の強化
①外来初診時から治療開始までを目途に、がん患者及びその家族が必ず一度はがん相談支援センターを訪問
（必ずしも具体的な相談を伴わない、場所等の確認も含む）することができる体制の整備
国立がん研究センター作成の冊子「がんと診断されたあなたに知ってほしいこと」の活用など、医療機関の実情に応じた対応を実施。
分科会等で好事例を共有。
②患者からの相談に対し、必要に応じて速やかに院内の診療従事者が対応できるよう、病院長もしくは
それに準ずるものが統括するなど、がん相談支援センターと院内の診療従事者が協働する体制を整備</td><td>１まほろばPEACE緩和ケア研修会の実施
<table><tr><th>施設名</th><th>開催日</th><th>受講者数</th></tr><tr><td rowspan="2">奈良県立医科大学附属病院</td><td>令和8年8月2日</td><td>26名</td></tr><tr><td>令和8年9月6日</td><td></td></tr><tr><td>奈良県総合医療センター</td><td>令和8年8月30日</td><td></td></tr><tr><td>天理よろづ相談所病院</td><td>令和8年9月13日</td><td></td></tr><tr><td>近畿大学奈良病院</td><td>令和8年8月2日</td><td>14名</td></tr><tr><td>市立奈良病院</td><td>令和8年7月12日</td><td>20名</td></tr><tr><td>南奈良総合医療センター</td><td>令和8年11月7日</td><td></td></tr><tr><td>済生会中和病院</td><td>令和9年2月7日</td><td></td></tr><tr><td>奈良県西和医療センター</td><td>令和8年9月6日</td><td></td></tr></table>
２緩和ケア地域連携カンファレンス（都道府県拠点病院主催）
<table><tr><th>回</th><th>開催日</th><th>発表施設</th><th>テーマ</th><th>参加人数</th></tr><tr><td>1</td><td>4/16</td><td>奈良医大</td><td>・奈良医大附属病院緩和ケアセンター新体制について
・在宅移行の際に悩んだ事例相談</td><td>21名</td></tr><tr><td>2</td><td>5/14</td><td>大和高田
市立病院</td><td>緩和ケア病棟開設４か月を振り返って</td><td>18名</td></tr><tr><td>3</td><td>7/16</td><td>吉田病院</td><td>疼痛コントロールに難渋しIVRにより著明に疼痛緩和が得られた30代女性食道胃接合部がん術後再発のケース</td><td>14名</td></tr><tr><td>4</td><td>9/17</td><td>天理よろづ
相談所病院</td><td></td><td></td></tr><tr><td>5</td><td>10/15</td><td>志都美薬局</td><td></td><td></td></tr><tr><td>6</td><td>11/19</td><td>奈良県総合
医療ｾﾝﾀｰ</td><td></td><td></td></tr><tr><td>7</td><td>12/17</td><td>ｸﾘｹｱ訪問看護
ｽﾃｰｼｮﾝ</td><td></td><td></td></tr><tr><td>8</td><td>1/21</td><td>奈良医大
地域連携室</td><td></td><td></td></tr><tr><td>9</td><td>2/18</td><td>四宮緩和ｹｱ内科
ｸﾘﾆｯｸ</td><td></td><td></td></tr><tr><td>10</td><td>3/18</td><td>奈良医大</td><td></td><td></td></tr></table></td></tr>
</table>

<table>
<tr><th></th><th>化学療法分科会</th><th>放射線療法分科会・地域連携分科会（合同開催）</th><th>院内がん登録分科会</th></tr>
<tr><td>分科会
開催日</td><td>令和9年3月頃（予定）
※第4回 化学療法Webカンファレンス実施前に開催

議題：未定</td><td>令和8年12月～令和9年1月頃（予定）

議題：2040年を見据えた「放射線療法提供体制」の均てん化・集約化に向けた現状把握及び課題の共有（予定）</td><td>メール開催 予定（日時未定）
・都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会 がん登録部会報告
・がん登録研修会 開催 報告
・情報提供等</td></tr>
<tr><td>令和8年度
計画・報告</td><td>化学療法Webカンファレンスの実施
各医療機関における実際の症例を基に、症例検討を行う。
<table><tr><th>回数</th><th>日 程</th><th>発表者</th><th>テーマ</th></tr><tr><td>1</td><td>令和8年
7月13日</td><td>近畿大学奈良病院
田村　雄平　医師</td><td>BRAF V600E変異陽性上行結腸癌の一例</td></tr><tr><td>2</td><td>令和8年
9月28日</td><td>天理よろづ相談所病院
古武　剛　医師（予定）</td><td></td></tr><tr><td>3</td><td>令和8年
12月頃</td><td>市立奈良病院
工藤　大輔　医師</td><td></td></tr><tr><td>4</td><td>令和9年
2～3月頃</td><td>国保中央病院
杉森　志穂　医師</td><td></td></tr></table></td><td>放射線療法分科会及び地域連携分科会を合同で開催し、
県内の放射線療法提供体制の現状を共有するとともに、2040年を見据えた均てん化・集約化に向けた課題及び今後の検討の方向性について意見交換を行う。

※詳細は、資料1「2040年を見据えたがん医療体制の均てん化・集約化について」参照</td><td>1 がん登録データの集計および分析
各拠点病院のがん登録データの収集・分析（予定）

2 がん登録研修会
日時・テーマ 未定</td></tr>
</table>

資料5

令和8年度 研修会等の実績・計画一覧（「人材育成」に関する要件のみ）

開催日順に記載

整備指針Ⅰ-3-（2）都道府県協議会 ②人材育成
イ　当該都道府県における拠点病院等が実施する、がん医療に携わる医師等を対象とした緩和ケアに関する研修やその他各種研修に関する計画を作成すること。

No.	整備指針 該当箇所	内　容	都道府県拠点病院	地域がん診療連携拠点病院	
			奈良県立医科大学附属病院	奈良県総合医療センター	天理よろづ相談所病院
1	Ⅱ-3-(5)	当該がん医療圏において顔の見える関係性を構築し、がん医療の質の向上につながるよう、地域の診療従事者を対象とした研修やカンファレンスを定期的に開催すること。	**第1～4回 令和8年度 化学療法Webカンファレンス** テーマ・開催日：資料4「分科会報告」参照 開催方法：Web **第1回 薬剤師がん医療連携研修会** 開催日：令和8年8月20日（木） 開催方法：Web **令和8年度 在宅緩和ケア研修会** テーマ：意思決定のプロセスを切れ目なく支え続ける在宅緩和ケア 開催日：令和8年11月15日（日） 開催方法：対面 **看護師対象緩和ケア研修会** テーマ：自信が持てる！看護師のためのがん疼痛マネジメント 開催日：令和8年12月6日（日） 開催方法：対面 **化学療法チーム研修会** テーマ：性別に関わらないアピアランスケア（予定） 開催日：令和9年1月21日（木）（予定） 開催方法：Web（当院内に対面参加用の会場を設置予定） **第2回 薬剤師がん医療連携研修会** 開催日：令和9年2月頃（予定） 開催方法：Web（予定） **がん登録研修会** 開催日・開催方法等：未定	**令和8年度　集学的がん治療勉強会** テーマ：自殺リスク（仮称） 開催日：令和８年12月頃 開催方法：対面・web **令和8年度 在宅緩和ケア地域連携研修会** テーマ：未定 開催日：令和9年2月頃 開催方法：対面	**がん薬物療法Webセミナー** テーマ： ①薬局薬剤師に知っておいてほしい、当院化学療法室の取り組みと連携のポイント ②こんな患者さん、どう対応する？～事例から考える副作用アセスメント～ 開催日：令和8年7月22日（水） 開催方法：Web 参加人数：52名 **在宅緩和ケア地域連携研修会** テーマ：外来通院がん患者の在宅療養支援 開催日：令和8年10月17日（土） 開催方法：対面
2	Ⅳ-1-(1) ※都道府県拠点病院のみ	当該都道府県においてがん医療に携わる専門的な知識及び技能を有する医師・薬剤師・看護師等を対象とした研修を実施すること。			
3	Ⅱ-3-(3)-④	地域を対象として、緩和ケアやがん教育、患者向け・一般向けのガイドラインの活用法等に関する普及啓発に努めること。	**「かしはら健康フェスタ2026」公開講座** テーマ：進化するがん放射線治療 開催日：令和8年8月23日（日） 開催方法：対面	**公開講座** テーマ：「納得してうけるがん治療～大切な自分のことだから～」 開催日：令和8年９月26日（土） 開催方法：対面	**ミニレクチャー** テーマ：乳がん・大腸がんの最新の抗がん薬治療について 開催日：令和8年7月22日（水） 開催方法：対面 参加人数：11名 **アピアランスケアの情報提供・相談** テーマ：がん患者さんのアピアランスケア相談会 開催日：令和8年10月23日（水） 開催方法：対面 **ミニレクチャー** テーマ：検査データの見方について 開催日：令和8年11月25日（水） 開催方法：対面
4	Ⅳ-2-(4) ※都道府県拠点病院のみ	当該都道府県の拠点病院等の相談支援に携わる者に対する継続的かつ系統的な研修を行うこと。必要に応じて、拠点病院等以外の相談支援に携わる者も対象に含めること。	**令和8年度 奈良県がん相談支援従事者研修会** テーマ：情報支援・相談支援に必要な情報支援の基本と情報を見極める力を学ぶ 開催日：令和9年2月6日（土） 開催方法：Web		**看護部集合研修「感情表出を促すコミュニケーションスキル'NURSE'」** 開催日：令和8年6月11日（木）、10月22日（木） 開催方法：対面

No.	該当箇所	内　容	地域がん診療連携拠点病院		地域がん診療病院
			近畿大学奈良病院	市立奈良病院	南奈良総合医療センター
1	Ⅱ-3-(5)	当該がん医療圏において顔の見える関係性を構築し、がん医療の質の向上につながるよう、地域の診療従事者を対象とした研修やカンファレンスを定期的に開催すること。	**第8回がん治療アップデートセミナー** テーマ：「ピロリ陰性時代の胃癌内視鏡診療」「ここまで進化した！前立腺がんに対する最新の放射線治療」 開催日：令和8年9月10日（木） 開催方法：WEB **生駒緩和医療研究会** 開催日：令和8年10月15日予定 開催方法：WEB **第2回「がん医療提供体制と社会支援に関する連絡会」** 開催日：日未定 開催方法：WEB **ELNEC-Jコアカリキュラム看護師教育プログラム** 目的：人々へ質の高いEOLケアを提供できるように、知識・技術を習得する 開催日：未定 開催方法：対面 **薬剤師：薬局に勤務する薬剤師等を対象とした研修** 開催日：令和9年2月予定 開催方法：未定	**令和8年度 在宅緩和ケア研修会** テーマ：せん妄を理解し患者さんを支えるために 開催日：令和8年9月10日(木) 開催方法：対面	**南和地域在宅医療研修会** 開催日：令和9年2月18日（木） 開催方法：ハイブリッド形式
2	Ⅳ-1-(1) ※都道府県拠点病院のみ	当該都道府県においてがん医療に携わる専門的な知識及び技能を有する医師・薬剤師・看護師等を対象とした研修を実施すること。	**がん患者のACP（e-learning）** 開催日：令和 8年７月７日（火）～7月31日（金） 対象：院内看護師	**ELNEC-Jコアカリキュラム看護師教育プログラム** 開催日：令和8年10月18日(日)、11月1日(日) 開催方法：対面	
3	Ⅱ-3-(3)-④	地域を対象として、緩和ケアやがん教育、患者向け・一般向けのガイドラインの活用法等に関する普及啓発に努めること。	**「第15回市民公開講座」** テーマ：知ってほしい！がんの早期発見と治療のこと 開催日：令和8年9月12日（土） 開催方法：対面	**市民公開講座** テーマ：がん治療に伴う外観変化とそのケア 開催日：令和8年7月31日(金) 開催方法：対面	**健康フェスティバル2026** 開催日：令和8年11月8日（日）
4	Ⅳ-2-(4) ※都道府県拠点病院のみ	当該都道府県の拠点病院等の相談支援に携わる者に対する継続的かつ系統的な研修を行うこと。必要に応じて、拠点病院等以外の相談支援に携わる者も対象に含めること。			

資料 6

奈 医 病 管 第 25 号
令 和 8 年 5 月 22 日

奈良県地域がん診療連携拠点病院
奈良県地域がん診療病院
病院長　殿

奈良県がん診療連携協議会会長
奈良県立医科大学附属病院
病院長　吉 川　公 彦

令和 8 年度 PDCA サイクル評価について（依頼）

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、令和 4 年度 第 2 回がん診療連携拠点病院協議会で決定しましたとおり、年度ごとにテーマを決め、取り組みについて発表し、意見交換を図るため、PDCA サイクル評価委員による相互チェックを実施します。下記をご確認のうえ、別紙「令和 8 年度 奈良県がん診療連携協議会 PDCA サイクルシート」のご提出をお願いいたします。

なお、相互チェックの開催日程につきましては、改めて調整のご連絡を差し上げます。

記

1　テーマ

「精神的苦痛及び自殺リスクを含む高リスク患者の早期発見と支援体制の強化」

がん診療連携拠点病院においては、苦痛のスクリーニングの実施が広く進んでいますが、全国的には、スクリーニング後の対応方法や多職種連携の進め方に課題があることが指摘されています。特に、精神的苦痛（不安・抑うつ）への対応が遅れやすいこと、診断直後や退院直後といった高リスク時期のフォローが十分に行われにくいことが報告されており、これらは自殺リスクの高まりとも関連があるとされています。さらに、今年 3 月には「がん医療における自殺対策の手引き(2025 年度版)」が発行され、苦痛スクリーニング後の適切な心理社会的介入や、多職種による支援体制の重要性が改めて示されました。

こうした動向を踏まえ、今年度は共通テーマとして「精神的苦痛および自殺リスクを含む高リスク患者の早期発見と支援体制の強化」を設定しました。本テーマは、がんと診断された時からの緩和ケアや、がん相談支援体制とも密接に関連する領域です。自施設の体制や患者背景に応じて取り組みを推進いただき、県全体のがん医療の質向上につなげられることを期待いたします。

2　対象施設

奈良県地域がん診療連携拠点病院 及び 奈良県地域がん診療病院

3　提出期日等

令和 9 年 1 月 18 日（月）までに、別紙「令和 8 年度 奈良県がん診療連携協議会 PDCA サイクルシート」を担当者までメールでご提出ください。

奈良県立医科大学附属病院
担当：病院管理課 事業推進係 谷川
TEL：0744-22-3051（内線 3216）
E-mail：chika_tanigawa@naramed-u.ac.jp

令和８年度 第１回 奈良県がん診療連携協議会

奈良県からの情報提供

奈良県福祉保険部
医療政策局疾病対策課

１．整備指針の改定および現況報告書の作成、
今後のスケジュールについて

第４期　奈良県がん対策推進計画　概要

資料７

基本理念　　がんにならない、がんになっても安心できる 奈良県

全体目標

1　県民ががんにならない、がんで亡くならない（がんで亡くならない県、日本一）

2　すべてのがん患者とその家族の苦痛が軽減され、安心、納得のいく医療を受け、療養生活を送ることができる

3　すべての県民ががんを正しく知り、がんと向き合い、地域共生社会の中で自分らしく生きられる

分野別施策

がん予防

＜めざす姿＞
がん罹患率が減少している
がんに関する正しい知識を持っている
・たばこ対策の充実
・健康的な生活習慣の普及
・感染症予防の充実

がん医療の充実

＜めざす姿＞
がん患者が安全かつ安心な質の高い医療を受けられる
がん患者が納得した治療を選択できている
・がん医療提供体制の充実・がん医療の質の向上（小児・ＡＹＡ世代や高齢者等のがん医療の連携促進）
・患者目線でのがん診療情報の提供

相談支援及び情報提供

＜めざす姿＞
がん患者の不安や悩みが相談支援により軽減されている
・相談支援機能の強化（小児・AYA世代、高齢者）
・患者目線での情報提供の充実

がんの早期発見

＜めざす姿＞
がんが早期の段階で発見されている
がんが早期の段階で診断されている
・がん検診の受診促進
・がん検診精度管理の充実

がんと診断された時からの緩和ケア

＜めざす姿＞
がん患者の身体的、精神的、社会的苦痛が軽減されている
・緩和ケア提供体制の充実
・緩和ケアの理解促進と情報提供

がん患者等の社会的な問題への対策

＜めざす姿＞
がん患者の抱える社会的苦痛が軽減されている
・がん患者の治療と仕事や学業の両立支援体制の整備
・その他ライフステージに応じた社会的な問題（アピアランスケア・妊孕性温存療法等）への支援

地域連携

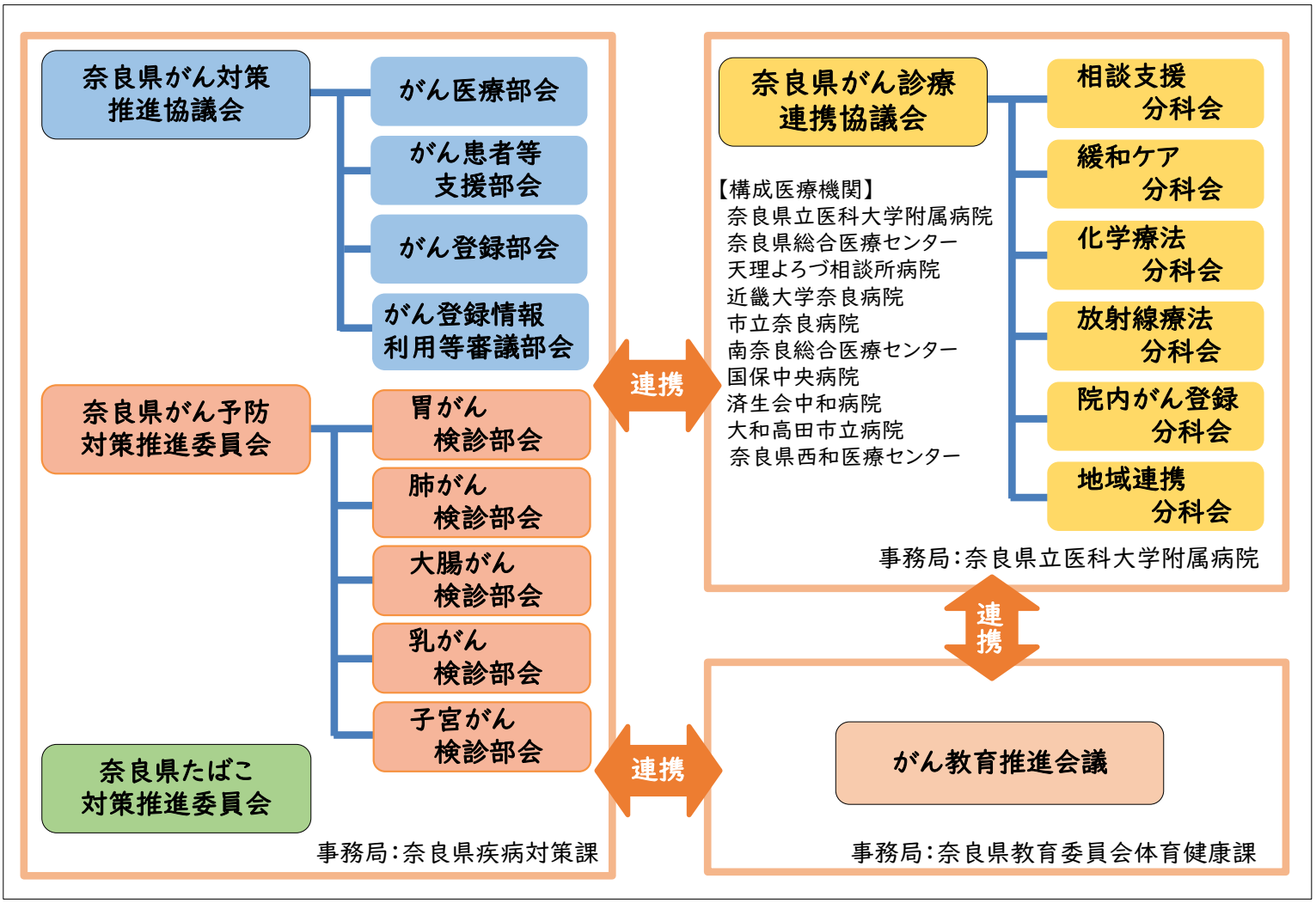
＜めざす姿＞
がん患者が居住する地域にかかわらず質の高い医療を受け、望む場所で療養生活を送ることができる
・拠点病院等・支援病院の地域連携体制の充実
・在宅緩和ケア提供体制の整備及び充実
・在宅療養生活に関する情報提供

これらを支える基盤整備

がん登録
＜めざす姿＞
がん登録データの精度が向上し、データが有効活用されている
地域でがん登録データが活用しやすい体制が整備されている
がん登録に基づいた適切な情報を得ることができている
・がん登録の精度向上
・がん登録データ等を活用したがん対策の検討・実施
・データを活用した情報提供等

がん教育・知識の普及啓発
＜めざす姿＞
がんに関する知識が向上する
・中学校・高等学校におけるがん教育の充実・推進
・小学校（高学年）におけるがん教育の推進
・がん対策全般に関する普及啓発の推進

第４期奈良県がん対策推進計画の推進体制



がん診療連携拠点病院等　指定一覧
（令和8年8月31日現在）

○がん診療連携拠点病院

拠　点	都道府県がん診療連携拠点病院	地域がん診療連携拠点病院			
病院名	奈良県立医科大学附属病院	奈良県総合医療センター	天理よろづ相談所病院	近畿大学奈良病院	市立奈良病院
医療圏	中和	奈良	東和	西和	奈良
指定日	平成20年2月8日 厚生労働省発健 第0208001号	平成20年2月8日 厚生労働省発健 第0208001号	平成20年2月8日 厚生労働省発健 第0208001号	平成20年2月8日 厚生労働省発健 第0208001号	平成21年2月23日 厚生労働省発健 第0223003号
更新日	令和5年4月1日 厚生労働省発健 0323第11号	令和5年4月1日 厚生労働省発健 0323第10号	令和7年4月1日 厚生労働省発健生 0314第1号	令和7年4月1日 厚生労働省発健生 0314第1号	令和5年4月1日 厚生労働省発健 0323第10号
指定期間	令和5年4月1日～ 令和9年3月31日	令和5年4月1日～ 令和9年3月31日	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日	令和5年4月1日～ 令和9年3月31日

・指定期間　4年間（令和5年度が4年の指定期間の起点となっているため、令和7年度から指定更新の病院は2年間）
・指定要件　がん診療連携拠点病院等の整備に関する指針（健発0801第16号　令和4年8月1日付け厚生労働省健康局長通知）
・補助事業　がん診療連携拠点病院等機能強化事業（国1/2、県1/2）

○地域がん診療病院

病院名	南奈良総合医療センター
医療圏	南和
指定日	平成29年1月31日 厚生労働省発健 0131第3号
更新日	令和5年4月1日 厚生労働省発健 0323第12号
指定期間	令和5年4月1日～ 令和9年3月31日
グループ指定	奈良県立医科大学附属病院

・指定期間　4年間
・指定要件　がん診療連携拠点病院等の整備に関する指針（健発0801第16号　令和4年8月1日付け厚生労働省健康局長通知）
・補助事業　がん診療連携拠点病院等機能強化事業（国1/2、県1/2）

○奈良県地域がん診療連携支援病院

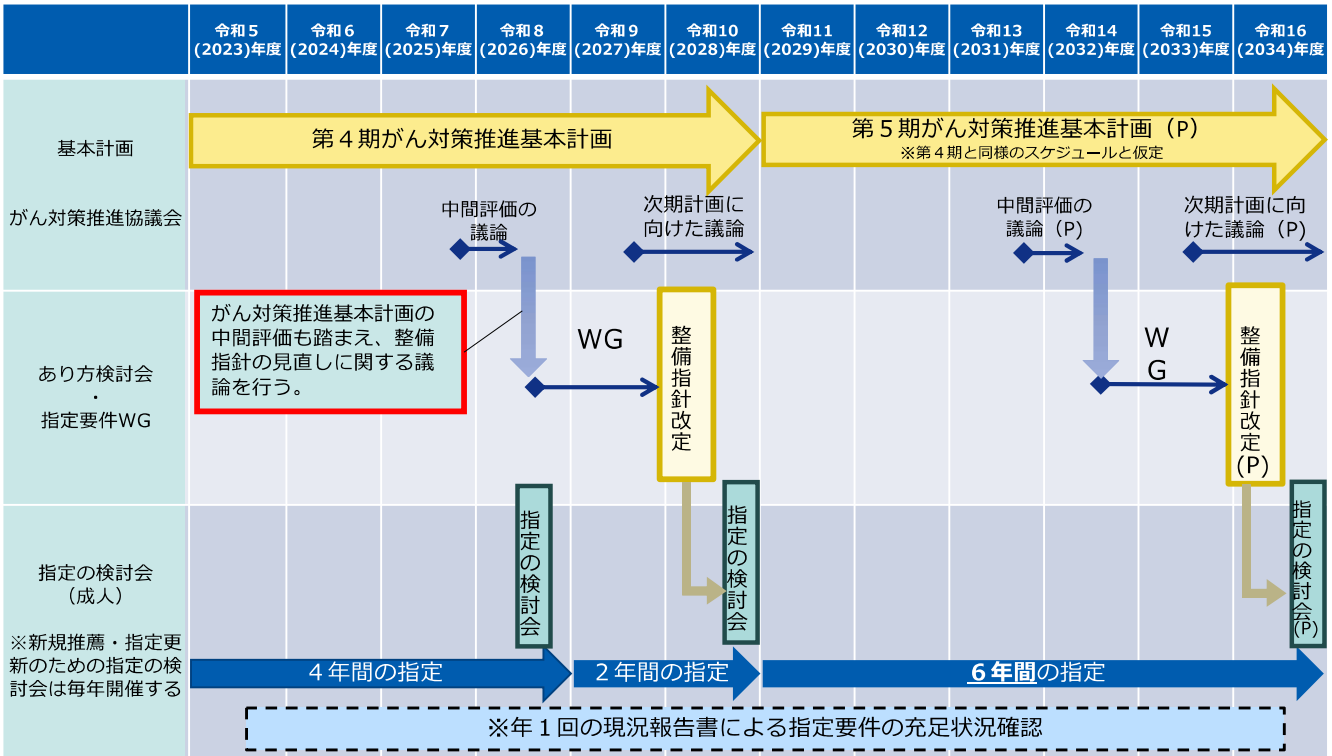
病院名	国保中央病院	済生会中和病院	大和高田市立病院	西和医療センター
医療圏	東和	東和	中和	西和
指定日	平成22年4月1日 保予第297-1号	平成26年7月10日 第26-2号	平成26年10月28日 第26-3号	令和7年3月28日 第2025-1号
更新日	令和8年4月1日 第2026-1号	令和8年4月1日 第2026-2号	令和8年4月1日 第2026-3号	令和8年4月1日 第2026-4号
指定期間	令和8年4月1日～ 令和12年3月31日	令和8年4月1日～ 令和12年3月31日	令和8年4月1日～ 令和12年3月31日	令和8年4月1日～ 令和12年3月31日
連携指定拠点病院	奈良県立医科大学附属病院	奈良県立医科大学附属病院	奈良県立医科大学附属病院 天理よろづ相談所病院	奈良県立医科大学附属病院 奈良県総合医療センター

・指定期間　4年間　※令和12年度以降は6年間
・指定要件　奈良県地域がん診療連携支援病院指定要綱

第15回がん診療提供体制のあり方に関する検討会
令和６年１月15日
資料１
一部改変

がん診療連携拠点病院等の整備指針見直しスケジュール

がん診療連携拠点病院等の整備指針見直しサイクルを６年間とする。また、がん診療連携拠点病院等の次の指定期間を**２年間**とし、その後は**６年間**の指定期間とする。
※その他必要な場合には、適宜見直す。



成人・小児・ゲノムの拠点病院等の整備指針見直しの今後のスケジュール

年度（令和）	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
地域医療構想			新たな地域医療構想の検討（国）	ガイドラインの検討（国）	新たな地域医療構想の策定・取組 将来の方向性、将来の病床の必要量の推計 等	医療機関機能に着目した地域の医療機関の機能分化・連携の協議、病床の機能分化・連携の協議 等								地域ごとの課題に対して一定の成果の確保	
医療計画	第7次		第8次医療計画						第9次医療計画						第10次
がん対策推進基本計画	3期		第4期がん対策推進基本計画						第5期がん対策推進基本計画					第6期	
都道府県がん対策推進計画	第3期		第4期がん対策推進計画						第5期がん対策推進計画						第6期
整備指針の見直し案	・指定の検討会（成人・小児・ゲノム） ・整備指針改定（成人・小児・ゲノム）※2				※3 ・指定の検討会（成人・小児・ゲノム） ・整備指針改定（成人・小児・ゲノム）		※2	・指定の検討会（成人・小児・ゲノム） ・整備指針改定（成人・小児・ゲノム）			※3 ・指定の検討会（成人・小児・ゲノム） ・整備指針改定（成人・小児・ゲノム）		※2	・指定の検討会（成人・小児・ゲノム） ・整備指針改定（成人・小児・ゲノム）	
			指定期間（4年）				指定期間（3年）		指定期間（3年）			指定期間（3年）			

整備指針の見直し案

成人：4年→3年サイクル※1
小児：4年→3年サイクル※1
ゲノム：4年→3年サイクル※1

※1 がん対策推進基本計画の中間評価の結果をうけ、3年を目途に整備指針の改訂を行う。なお、年に1回、現況報告書による指定要件の充足状況確認を行う。
※2 次期がん対策推進基本計画の作成
※3 がん対策推進基本計画の中間評価

拠点病院の新規指定推薦・類型変更について　成人：毎年受け付けている　小児：検討会開催時に受け付けている　ゲノム：検討会開催時に受け付けている

今後のスケジュール

◆ がん診療連携拠点病院等の指定に向けたスケジュール

	令和8年									令和9年			
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4～
がん診療提供体制のあり方に関する検討会（本検討会）	4/16												
WG（※1）開催（指針改定の論点出し）		5/14											
WG開催（関係学会・患者会の意見聴取）		5/28											
第4期がん対策推進基本計画　中間報告書				7/10									
WG開催（改定指針案提示）				7/14									
がん診療提供体制のあり方に関する検討会（WGからの報告）				7/27									
新整備指針公表				7/30									
都道府県向け説明会													
新現況報告書様式配布													
新現況報告書の回収（都道府県からの推薦）													
新現況報告書の集計（都道府県への照会）（※2）													
がん診療連携拠点病院等の指定に関する検討会													
令和9年度の新規指定・指定更新													

（※1）がん診療連携拠点病院等の指定要件に関するワーキンググループ

（※2）10月末日までに提出される新規指定推薦書及び現況報告書において、未充足の要件がある等の不備が認められる場合、厚生労働省は都道府県に対し、12月末日までを期限として、補正を求めることとする。不備が補正されない場合、新規指定の推薦は拒否される。また、10月末日～12月末日の間に、要件の充足が新たに確認された場合、都道府県は厚生労働省に対し、所定の書類を提出することとする。

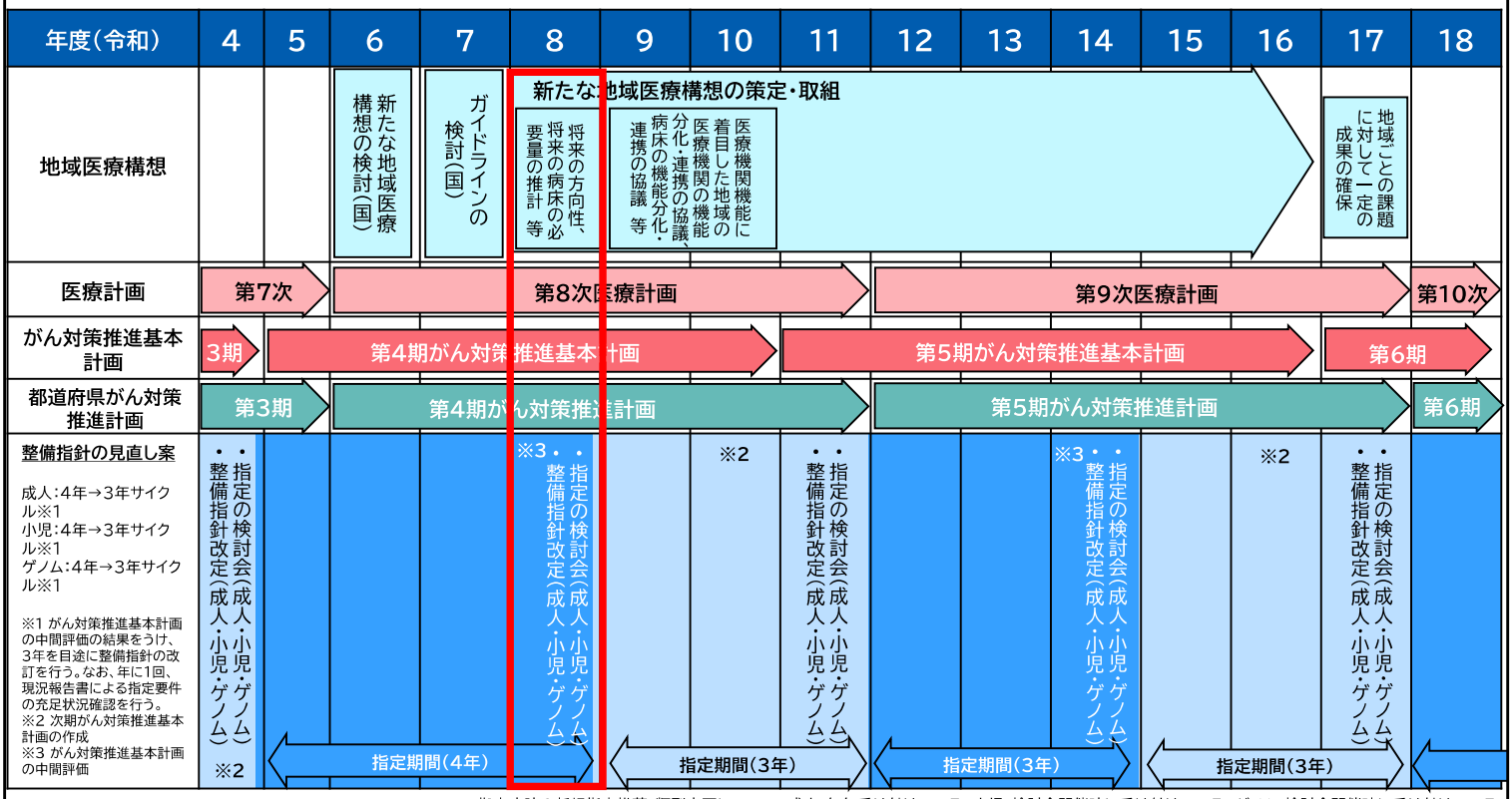
2．都道府県小児がん拠点病院および がんゲノム医療拠点病院について

第20回がん診療提供体制のあり方に関する検討会
令和8年4月16日

資料2
（一部改変）

資料８

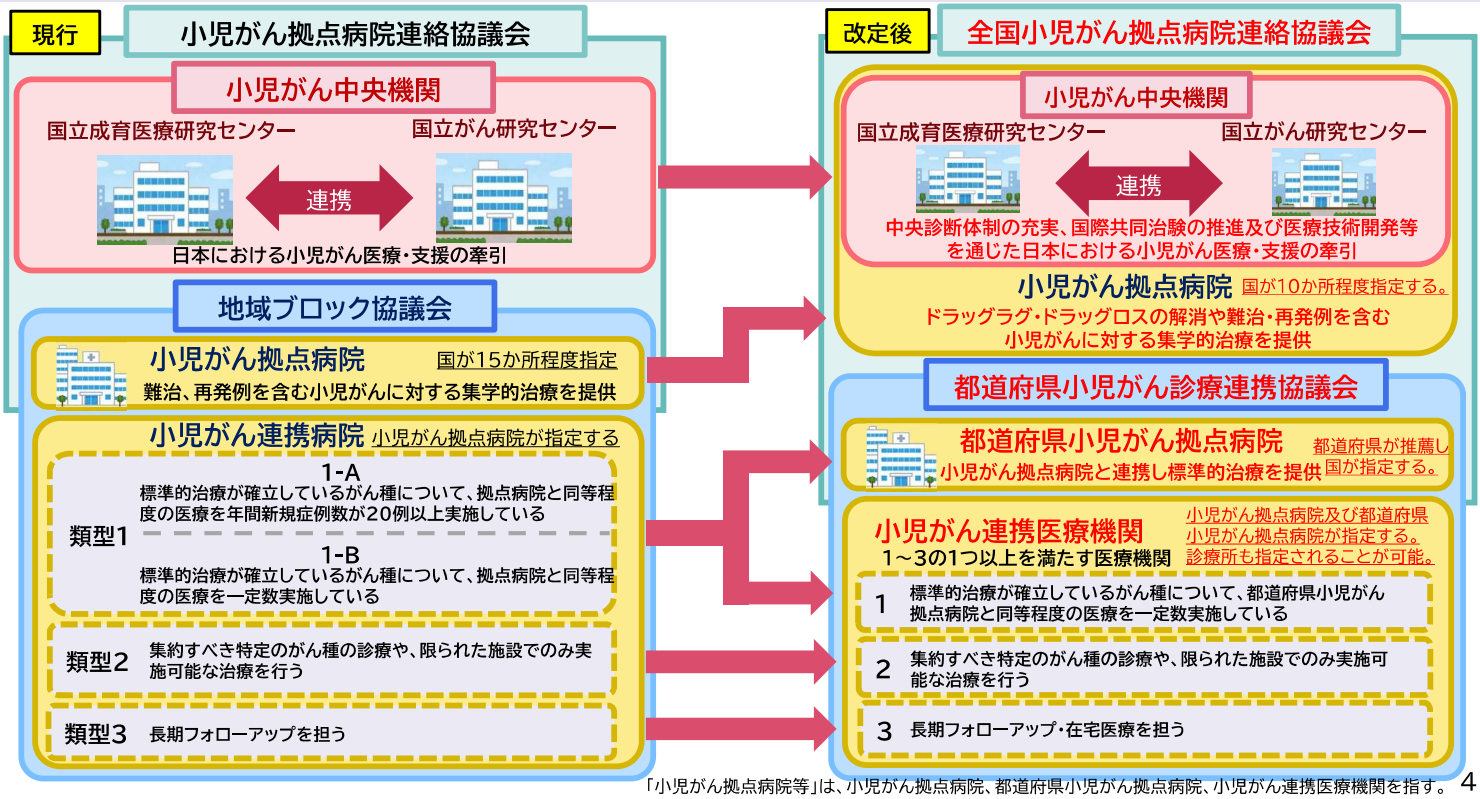
成人・小児・ゲノムの拠点病院等の整備指針見直しの今後のスケジュール



拠点病院の新規指定推薦・類型変更について　成人：毎年受け付けている　小児：検討会開催時に受け付けている　ゲノム：検討会開催時に受け付けている

令和８年度「小児がん拠点病院等の整備に関する指針」の改定概要

- 少子化が進行し、小児がん患者が減少する中、小児がん拠点病院を集約化することで今後も質の高いがん医療提供体制を確保する。各都道府県において、患者が適切な医療にアクセスできるよう都道府県小児がん拠点病院を新設するとともに、治療後に安心して暮らせるよう長期フォローアップの体制を整備する。



「小児がん拠点病院等」は、小児がん拠点病院、都道府県小児がん拠点病院、小児がん連携医療機関を指す。

今後のスケジュール

◆ 小児がん拠点病院等の指定に向けたスケジュール

	令和8年										令和9年			
月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4～
WG(※1)開催(指針改定の論点出し)	3/26													
WG開催(学会等ヒアリング)			5/28											
WG開催(本WG・改定指針案提示)				6/23										
第4期がん対策推進基本計画 中間報告書					7/10									
がん診療提供体制のあり方に関する検討会(WGからの報告)					7/27									
新整備指針公表					7/30									
都道府県向け説明会														
新現況報告書様式配布														
新現況報告書の提出(都道府県からの推薦)														
小児がん拠点病院等の指定に関する検討会														
新指定類型の適用開始														4/1

(※1)小児がん拠点病院等の指定要件に関するワーキンググループ

令和８年度「がんゲノム医療中核拠点病院等の整備に関する指針」の改定概要

第9回がんゲノム医療中核拠点病院等の指定要件に関するワーキンググループ
令和8年7月6日
資料1

- がんゲノム医療を必要とする患者が、全国どこにいてもがんゲノム医療を受けられるように、がんゲノム医療に関する拠点病院制度を見直すこととし、各都道府県にがんゲノム医療の推進を担うがんゲノム医療拠点病院（都道府県拠点）を都道府県の推薦に基づき指定し、ゲノム医療を提供できる病院の拡充に取り組む。
- ドラッグラグ・ドラッグロスの解消を図るため、国は、国際共同治験を含む研究開発の推進に必要な要件を満たす病院を、がんゲノム医療中核拠点病院として指定し、国際共同治験への参画を促し、FIH試験等の医療技術の開発を推進する。

現行

がんゲノム医療中核拠点病院等連絡会議

がんゲノム情報管理センター（C-CAT）と協働で設置

がんゲノム医療中核拠点病院

がんゲノム医療を牽引

- 国が10か所程度指定
- 自施設及びがんゲノム医療連携病院から依頼されたエキスパートパネルの実施が可能

がんゲノム医療拠点病院

がんゲノム医療を提供する機能を有する医療機関

- 国が30か所程度指定
- 自施設及びがんゲノム医療連携病院から依頼されたエキスパートパネルの実施が可能

エキスパートパネル実施可能がんゲノム医療連携病院

- 自施設の症例に限ってエキスパートパネルの実施が可能

がんゲノム医療連携病院

がん遺伝子パネル検査の出検とその結果に応じた医療を行う医療機関

- がんゲノム医療中核拠点病院及びがんゲノム医療拠点病院が指定
- がん診療連携拠点病院等もしくは小児がん拠点病院、又は小児がん連携病院の類型1－Aから指定
- 連携する中核拠点病院又は拠点病院にエキスパートパネルを依頼

改定後

がんゲノム医療中核拠点病院等連絡会議

がんゲノム情報管理センター（C-CAT）と協働で設置

がんゲノム医療中核拠点病院

がんゲノム医療を牽引するとともに、ドラッグラグ・ドラッグロスの解消に向けて国際共同治験への参画やFIH試験等の医療技術の開発を推進

- 国が10か所程度指定
- エキスパートパネル連携グループ内の病院から依頼されたエキスパートパネルの実施が可能

都道府県がんゲノム医療連携協議会

がんゲノム医療拠点病院（都道府県拠点）

都道府県とともに都道府県がんゲノム医療連携協議会の運営を担い、ゲノム医療を提供できる病院の拡充に取組む。

- 各都道府県の推薦をもとに原則1か所国が指定
- エキスパートパネル連携グループ内の病院から依頼されたエキスパートパネルの実施が可能

エキスパートパネル実施可能がんゲノム医療連携病院

- 自施設の症例に限らずエキスパートパネル連携グループ内の病院から依頼されたエキスパートパネルの実施が可能

がんゲノム医療連携病院

がん遺伝子パネル検査の出検とその結果に応じた医療を行う医療機関

- がんゲノム医療中核拠点病院及びがんゲノム医療拠点病院が指定
- がん診療連携拠点病院等に限らず、ゲノム医療を提供可能な一定の要件を満たす病院から指定
- エキスパートパネル連携グループ内の病院にエキスパートパネルを依頼

55

今後のスケジュール

第7回がんゲノム医療中核拠点病院等の指定要件に関するワーキンググループ
令和8年3月13日
資料4
一部改変

◆ がんゲノム医療中核拠点病院等の指定に向けたスケジュール

	令和8年										令和9年			
月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4～
WG（※1）開催（指針改定の論点出し）	3/13													
WG開催（学会等ヒアリング）			5/28											
WG開催（本WG・改定指針案提示）				7/6										
第4期がん対策推進基本計画 中間報告書（夏頃）					7/10									
がん診療提供体制のあり方に関する検討会（WGからの報告）					7/27									
新整備指針公表					7/30									
都道府県向け説明会														
新現況報告書様式配布														
新現況報告書の提出（都道府県からの推薦）														
がんゲノム医療中核拠点病院等の指定に関する検討会														
新整備指針におけるがんゲノム医療連携病院の指定							様式の提出は随時受け付ける。毎月20日までに受け付けたものについては、翌々月の1日以降に新たな連携の指定が可能。							
新指定類型の適用開始														4/1

（※1）がんゲノム医療中核拠点病院等の指定要件に関するワーキンググループ

3．国の2026年度患者体験調査について

2026年度患者体験調査へのご協力のお願い

患者体験調査

資料９
令和8年7月30日　第20回都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会資料抜粋

調査の目的　厚生労働省委託 がん対策評価事業として、第4期がん対策推進基本計画の最終評価を主目的に、がん患者さんの診療体験を把握するための全国調査を実施します

対象施設	対象者	予定対象者数	実施方法
院内がん登録実施施設 877施設	2024年診断 自施設初回治療開始の患者	約47,000名	郵送質問紙 Web回答併用

調査票の発送・回収・集計、患者さんからの問い合わせは調査事務局が対応します

各施設にお願いする主な作業

10～12月	10月～	1～2月	1～2月	～2月
参加可否の登録 Webフォーム	院内掲示 患者への周知	対象者リスト取得 院内がん登録システム	宛名情報の抽出 専用ソフト配布	宛名情報の提供 院内がん登録システム

想定される施設からの主な確認事項

Q1　院内がん登録データを調査に利用して問題ないか
A1　問題ありません

- 院内がん登録とは別に行う調査
- 改めて症例登録をお願いする手続きを省くため、院内がん登録情報の複製を用いる

Q2　氏名・住所の提供は問題ないか
A2　問題ありません

- 学術研究目的として整理
- 宛名情報は、発送・督促に限定して用いる

Q3　法律上・倫理上問題ないか
A3　問題ありません

- 倫理審査委員会の承認など、必要な手続きを経て実施
- がん登録推進法とは別の調査
- 参加施設は研究協力機関として参加（原則、新たな倫理審査は不要）